

4 番（小川義昭君）

次に、第2の市立保育所の民営化、法人化計画についての質問であります。

本市では、これまで保育サービスの充実などを含むさまざまな子育て支援対策を推進し、市民の多様なサービスの充実に努めてきました。一方、市財政は極めて厳しいことから、より一層の行財政改革推進に向けて、ことし2月には白山市公共施設の統廃合及び管理見直し方針を策定しました。その中で、市立保育所の統廃合や民営化導入を検討し、市民サービスの向上に努めることとしてきました。

こうした中で、本市では昨年度市立保育所民営化計画の指針、ガイドラインを立て、平成30年を目標に市内10の保育所の民営化に取りかかり、早速ことし4月より石川保育所及び蝶屋保育園の2カ所の民営化が実現され、ひかり保育所及び蕪城保育所においてもそれぞれ地元で法人を設立し、来年4月から民営化への移行が関係者の合意に至ったと伺っております。

そこで、保育所法人化移行への問題点と今後の対応策について、市長に5点に分けて質問をいたします。

1点目、民営化が実現した2保育所については、地域性や法人の設立形態など協議は比較的円滑に推移したようであります。しかし、現在協議中の保育所の中には、町内会や保護者の理解が得られず、さまざまな問題点が指摘されているようであります。市としては10カ所の法人予定保育所について、一斉に保護者会及び地域住民への説明会を開催しているとのことですが、民営化移行についての市民の認識度合いは、どうも町内会長や保護者会の範囲にとどまっているように見受けられます。民営化に関する情報をより積極的に公開し、保護者に対する説明はもちろんのこと、広く地域住民の意見聴取に多くの機会を確保し、民営化に対する市民の不安を解消し、十分な理解を得て、円滑に民営化を図ることが必要不可欠だと考えます。どのような状況なのか、現況と取り組みへの見解を伺うものであります。